

## かわさき区の宝物シート

宝物No.
1-28

### しゃったーうきよえぎやらりー シャッター浮世絵ギャラリー

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北～川崎駅前南～八丁囃	日時	



目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区本町1～2丁目、砂子1～2丁目、小川町、日進町、下並木
問い合わせ	川崎区役所まちづくり推進部地域振興課
TEL	044-201-3136
FAX	044-201-3209
E-mail	61tisin@city.kawasaki.jp
URL	http://www.city.kawasaki.jp/61/61kusei/kawasakijuku/in (東海道川崎宿2023)
交通	



#### 基礎情報

- 「東海道川崎宿2023」と川崎区役所は、かつての東海道川崎宿にあたる本町、砂子、小川町の商店街などに、江戸時代当時の宿場町としての面影を残す事物が少ないため、地域の協力を得て、通り沿いの店舗のシャッターに浮世絵を設置する取り組みを実施している。
- シャッターには歌川広重作の「東海道五拾三次 川崎（六郷渡舟）」のほか、同作の東海道五拾三次などの浮世絵が描かれ、江戸時代当時の東海道の賑わいを偲ぶことができる。協力店舗は薬局、寿司屋、酒屋など、多岐にわたっている。

#### 由来・エピソード

- 「東海道川崎宿2023」は、東海道川崎宿の歴史や文化を活かしたまちづくりを進める団体。「2023」は、東海道川崎宿が成立した元和9年(1623)から400年目の平成35年(2023)のことを示している。市民が提案した「東海道川崎宿2023いきいき作戦」では、節目となる2023年に向けて、東海道沿道を5つに分けたゾーン構想や様々な取組案を明記したプロジェクトが示してあり、積極的な活動が行われている。
- シャッター浮世絵ギャラリーの整備は、浮世絵や川崎宿をイメージした絵を描くことにより、江戸時代のイメージを表出することや、商店が休業の場合に、単なるシャッターではなく、絵やイラストが描かれていることで、まちに彩りや華やかさを演出することをねらっている。商店や金融機関等のシャッターなどの公共・公益施設のウインドウに浮世絵や川崎宿をイメージした絵が描かれている。
- 描かれている店舗と浮世絵は以下のとおり（平成28年(2016)3月現在）。
  - ・歌川広重作 東海道五拾三次
    - スイタヤ薬局：「原（朝之富士）」・生花ハナモン：「神奈川（台之景）」・高橋印房：「川崎（六郷渡舟）」・やよひ鮎：「日本橋（朝之景）」・藤枝（人馬継立）」・京師（三条大橋）」・まるだい：「白須賀（汐見阪図）」
    - 「小田原（酒匂川）」・さくら舩ビルディング「戸塚（元町別道）」・福来屋酒店：「吉原（左富士）」
    - 真行寺風呂店：「舞坂（今切真景）」・天國：「保土ヶ谷（新町橋）」
    - ・長谷川雪旦作 江戸名所図会
      - 高橋印房：「河崎宗三寺」

#### 補足・その他

- 平成26年（2014）7月、川崎信用金庫本店（砂子2-11-1）のシャッター11面全てに、歌川広重作の「東海道五拾三次」の浮世絵が描かれた。シャッターに描かれた全ての浮世絵が見られるのは、午後10時00分から午前7時00分までのシャッターが閉まっている時間帯。

#### 関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-29)いきご通り